

もっと豊かに暮らしたい

G-NET じーねっとしが

滋賀県
男女共同参画
情報誌

vol.25

2013 冬号

「G-NET しが」とは…

滋賀県立男女共同参画センターの愛称で、「Gender-Network しが」の略。
ジェンダー問題を見据えて、男女共同参画のネットワークを広げていこうという思いをこめたものです。

特集

誰もが安心して暮らせる地域づくり

～さんかく塾 課題編～

「地域で支える介護のしくみづくり」より

男女共同参画専門図書館利用セミナー

チャレンジショップ

～さんかく塾 課題編 「地域で支える介護のしくみづくり」より～

6月29日に開催しました「さんかく塾【課題編①】」では、「地域で支える介護のしくみづくり」をテーマに津止 正敏さん（立命館大学教授）をコーディネーターにお迎えし、小宮 俊昭さん（認知症の人と家族の会滋賀県支部副代表）と南部 直美さん（東近江市社会福祉協議会かじやの里の新兵衛さん所長）による実践事例の紹介がありました。今、日本の家族構成や地域社会が大きく変わりつつあります。そこで、介護を通して男女共同参画の地域づくりを考えましょう。

男性介護者の立場から

小宮 俊昭さん

母が認知症になり、仕事を辞め、自宅に引き取ることになりました。既に妻を亡くしており、自分一人で母を見ることになり、孤立感に襲われました。しかし、「認知症の人と家族の会」を知り、入会したことで、愚痴を言い合える仲間が来て、心の支えとなりました。自身の体験からも、レスパイトケア*等の介護サービスは早く利用し、息抜きの時間をとってもらうことを勧めます。また、地域の結びつきを大切に、介護する家族の日常を理解し合える関係をつくっていきたくて考えています。



*「レスパイトケア」とは一時的にケアを代替し、リフレッシュを図ってもらう家族支援サービス

かじやの里の新兵衛さんでの取り組み

～地域で見守る介護～ 南部 直美さん

地域密着型のサービスとして、小規模多機能型居宅介護事業「かじやの里の新兵衛さん」を実施しています。認知症になっても安心して住み続けられるまちづくりのためには、認知症という病気を正しく理解し、早期発見することが大切です。地域での早期発見につなげていくために

は周りの人が「認知症では」と思ったらその家族に伝え・伝えられるような「お互い様」の関係づくりが不可欠です。同所では、認知症啓発の一環として認知症徘徊高齢者の早期発見・保護訓練についても地域ぐるみで取り組み、認知症の方に安心してもらえる声かけ方法も学んでいます。

また、「かじやの里の新兵衛さん」の運営には、「NPO法人かじやの里」を中心とした地域の皆さんにもかかわっていただいております。このことにより、同所が介護予防・生きがいづくりの場になるとともに、同所を含む、この地域一帯が福祉モール*としての空間を形成しています。

*「福祉モール」とは「安心して暮らせる地域」をつくりたいというそれぞれの事業所の思いをつなげていく福祉の空間



かじやの里の新兵衛さん

社会とつながる介護

津止 正敏さん

高齢世帯の増加に伴い、配偶者間の介護では、夫が妻を介護するケースも増えていきます。しかし、夫が今まで家事や地域社会とのつきあい等の機会が少ない場合、夫も要介護側の妻にとっても、ストレスの多い介護となります。男性が自分の介護体験を周囲に伝えることで女性が我慢してきた介護の課題が可視化され、社会の問題として認識されるようになります。

また、今まで介護する人への支援はあまり問題にされてこなかったように思いますが、これからは介護者の経済的・精神的・健康上の支援が重要です。介護は百人百様ですが、誰でも「ケアされて暮らす」ことは避けられません。地域で介護者を孤立させないこと、「ちょっと助けて



ください」「ありがとう」と言い合える地域づくりをすることで、介護者の心が軽くなるのです。つまり、普段の地域活動において、想像力を磨いてその人のことを自分のこととして思いやるようにする、介護という人間らしい行為をする人に思いを馳せるように意識することが重要です。

(参考文献)「ケアメンを生きる」 津止正敏著 発行所：(株)クリエイツかもがわ
「しあわせの社会運動」津止正敏著 発行所：(株)かもがわ出版

データからみた介護の現状と男女共同参画について

私たちを取り巻く環境の変化

平成22年国勢調査では、65歳以上の世帯員がいる世帯に占める「単独世帯」の割合をみると、24.8%となっており、4世帯に1世帯が一人暮らしの世帯となっています。平成7年以降その割合は上昇を続けています。(図1)

図1 65歳以上世帯員がいる一般世帯の家族類型別割合の推移 (平成7年～22年)

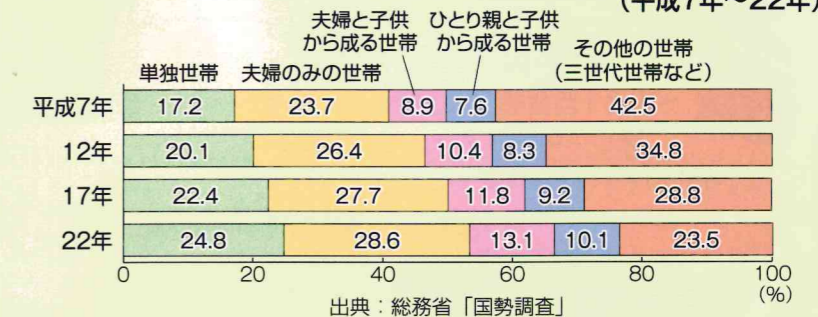
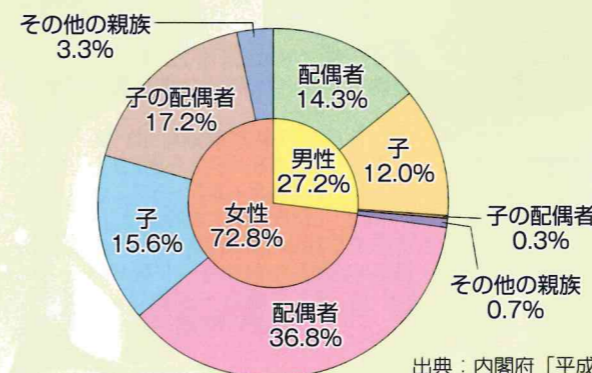


図2 介護時間が「ほとんど終日」の同居の主な介護者割合 (男女別)



家族内介護の主な介護者のうち、約3割が男性となっています。介護時間が「ほとんど終日」の同居の主な介護者を見ると、全体の約7割が女性となる等、介護の負担が女性に偏っています。(図2)

滋賀のイクメン・カジダンフォトコンテスト2013

入賞作品をご紹介します!



「滋賀県」と「仕事と生活の調和推進会議しが」では、育児や家事に積極的な男性（イクメン、カジダン）のフォトコンテストを実施しました。応募総数110点の中から選ばれた入賞作品の一部をご紹介します。滋賀の男性が育児・家事をがんばる姿、楽しむ姿をご覧ください。

ご紹介した作品以外にも、特別賞として7作品が入賞されています。
入賞された作品全てを滋賀県男女共同参画課ホームページで紹介していますので、ぜひご覧ください。
男女共同参画課ホームページアドレス
<http://www.pref.shiga.lg.jp/c/danjo/>

最優秀賞

お買い物

たけもと みちお
竹本 道生 さん (大津市)



〈エピソード・コメント〉
今年5月に長女が誕生し、はじめての育児に奮闘しています。
妻が車を運転できないので、大きな買い物は私の担当。一人で買い物のときは、ベビーカーとショッピングカートの両方は押せないのので、抱っこ紐で娘をつれて、買い物をしています。
娘も外出に興味津々でご機嫌です。

優秀賞

じいじの自転車教室

おがわ ひろかず
小川 博一 さん (大津市)



〈エピソード・コメント〉
ママと生まれたばかりの妹と、じいじはおばのお家で過ごす1か月。
じいじの提案で自転車教室がいきなり始まった。なかなかのスパルタ指導に時々泣きべそかいたけど、最後にはじいじがいつの間にか手を離して、ひとりで乗っていたからめっちゃ嬉しかった!
じいじ、ありがとう〜!!



優秀賞

うちの洗濯男子2人

こみなみ かなこ
小南 佳苗 さん (東近江市)



〈エピソード・コメント〉
朝は何かとバタバタする中、時間があるときはいつも縁側に座りながら洗濯ものを干してから仕事に行ってくれるお父さん。
そんな姿を平日は窓から見ている1歳の息子はお休みの日になると一緒に外に出て洗濯ものを「ハイ!!」と渡して手伝うのが大好き。その息子の面倒も見ながら洗濯を干すことも出来る素敵なお父さんです。

優秀賞

パパの手、みいつけた!

どい かなこ
土居 加奈子 さん (彦根市)



〈エピソード・コメント〉
砂のトンネルの中で手と手が触れてニコリ笑顔。
娘を喜ばせようと、休日には色々な所へ連れ出し、一緒になって全力で遊んでくれます。
仕事の疲れも見せずに温かい笑顔で包み込んでくれるパパ。いつもありがとう。



配偶者暴力防止法の改正!

「配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護に関する法律の一部を改正する法律」が平成25年6月26日に成立し、同年7月3日に公布されました。平成26年1月3日に施行されます。

今回の改正によって、生活の本拠を共にする交際相手からの暴力及びその被害者についても、配偶者からの暴力及びその被害者に準じて、法の適用対象とされることとなります。

詳細は、内閣府男女共同参画局HPをご覧ください。

配偶者からの暴力被害者支援情報サイト
<http://www.gender.go.jp/e-vaw/index.html>

「デートDV防止啓発セミナー」を開催しました。

昨今、若年層における交際相手からの暴力（デートDV）の問題が注目されています。

そこで、滋賀県立男女共同参画センターでは、青少年を見守る立場にある大人の方々への理解を深めるため、8月22日にNPO法人女性と子ども支援センター ウィメンズネット・こうべ 代表理事の正井礼子さんを講師に招き、PTA関係者や民生委員児童委員、教職員等を対象として「デートDV防止啓発セミナー」を開催しました。

終了後のアンケートには、「DV・デートDVは個人の問題ではなく、社会の問題です。被害者を孤立させないことが大切です。」という言葉が強く心に残ったという感想も寄せられました。

こんにちは、G-NETしが推進員です!

「特定非営利活動法人 全国女性会館協議会 理事長 桜井 陽子さんを迎えて」～G-NETしが推進員研修会を振り返って～

9月3日、滋賀県立男女共同参画センターで、特定非営利活動法人 全国女性会館協議会 理事長 桜井 陽子さんをお迎えして、G-NETしが推進員研修会を開催しましたので、その概要を報告します。

「地域リーダーの視点で進めるこれからの男女共同参画」についてご講演いただいた後、「男女共同参画の拠点をどう地域づくりに生かすか」というテーマで講師を交えて交流会を持ちました。

男女共同参画がなぜ進まないのでしょうか…

男女共同参画というと男性と女性が何でも一緒にすればよいというイメージがありますが、同じようにするのではなく、「アンバランスな分野をどう変えていくか、男女が共に活動していくこと」が大切です。まだまだ、男性は政治・経済・社会、女性は家事・育児・地域活動に偏っているところが課題です。それを男女が同等にバランスよく活躍できるように、実際に活動し



ながら考えていくことです。例えば、父と子の料理教室を実施し、「お母さんを休ませてあげる、お手伝い」という意識を持った父親や子どもたちを「家事はお母さんだけがやるものではない、自分の出来ることは進んでやるんだ」というように気づいてもらうように促します。「意識はなかなか変わりません。しかし、実践していくことで課題を見つけ、解決していく活動の積み重ねが前進につながります。」

でも、10年前よりは進んできている!

地域の防災訓練で固定的性別役割分担の見直しが始まったところもあります。「災害支援時の国際基準（スフィア基準）*では、あらゆる年齢層の男女から支援に関する意見を聴くこと」となっています。

平時に出来ないことは緊急時には出来ません。女性も支援活動方針決定の場に入っていくことが大切です。防災という課題に取り組むことで、男女共同参画が進んでいくのではないのでしょうか。

講師の桜井陽子さんが終始力強く笑顔でお話しいただいたことが印象に残りました。

※「スフィア基準」

(人道支援の現場において支援者が守るべき基準)より抜粋

- 意見を聴く工夫をする。とくに女性が安心して話せる(必要ならば女性だけ別の)場所で、話を聴くスキルのある人が加わる。
- 支援事業の計画づくりから、男性女性双方が参画するよう促す。
- 支援チームの構成は、男女、年齢のバランスをとる。

男&女 ア・ラ・カルト

～赤ちゃんを産むへび～

数十年前に、ある女優さんが、「子どもを卵で産みたい!」と発言し、大変話題になったことがありました。その発言の真意とは、女性が大きなお腹をかかえて仕事をしながら、出産することがどれほど大変かということを伝えられたからということでした。な一るほど、その気持ちはわかりますが、私たちほ乳類は胎生(母体から胎児に栄養供給して、ある程度育ててから産む)ですから、それは不可能です。

へびといえば卵生(卵を産む)で、地温を利用して卵



を孵化させます。しかし、日本のへびでは、ニホンマムシが卵胎生(卵を胎内で孵化させて子どもを産む)です。寒い地域では、卵を地温で孵化させることができないため、卵胎生になったと考えられます。体温を上げて卵の発育を促すので、日当たりの良い道端などによく日光浴をしているニホンマムシを見かけます。

ところで、今の日本は、少子高齢社会が進み、若い人々にとって将来の見通しが持ちにくくなっているところもあります。若い世代が安心して子どもを産み育てられるよう、母親が出産の後、子育てしながら安心して仕事を続けられるようなシステムをつくる必要があります。仕事と出産・育児のバランスの良い社会をみんなであつくるために行動を起こしていくことが大切ではありませんか。

〈参考文献〉図解雑学動物の不思議

滋賀県立男女共同参画センター(G-NETしが)事業のご案内

★女性のためのチャレンジ相談★

無料相談

専門の相談員が、起業やキャリアアップ、NPO活動などチャレンジしたい女性へのアドバイスや情報提供を行います。

(要予約)

〈相談日〉毎月第2木曜日 9:00～、10:00～、11:00～
毎月第4土曜日 13:30～、14:30～、15:30～
まずはお電話ください (TEL 0748-37-3751)

※無料託児有り(7日前までに要予約)

★男女共同参画相談室★

無料相談

「女だから…男だから…」と差別された、パートナーや恋人からの暴力、夫婦間の問題、セクハラ・パワハラなど、一人で悩まないで、まずは、お電話下さい。

◆相談専用電話 **0748-37-8739**

秘密は
厳守します。

◎総合相談(電話・面接)

火・水・金・土・日曜日 9:00～12:00 13:00～17:00
木曜日 9:00～12:00 17:00～20:30

◆法律相談(要予約)

※無料託児有り(7日前までに要予約)

★滋賀マザーズジョブステーション★

無料相談

就労に向けたカウンセリングや仕事と子育ての両立支援相談をはじめ、ハローワークマザーズコーナーもありますので、ぜひお気軽にご利用ください。

※祝日も相談できます(ハローワークを除く)

※相談の際の無料託児有り(予約不要)

◆総合受付 0748-36-1831

◆利用時間 9:00～17:00

※ハローワークマザーズコーナー

【昼休憩12:00～13:00】(センター休所日、祝土日を除く)



★G-NETシネマ★

参加無料

～毎月1回金曜日に上映しています～

詳しい内容はホームページで!

◎小学生低学年以下は保護者同伴のこと。

※無料託児有り(7日前までに要予約)

★図書・資料室から★



～テーマ「介護」～



『上野千鶴子が聞く 小笠原先生、ひとり家で死ぬますか?』

上野千鶴子 小笠原文雄 著
朝日新聞出版社(2013年)

人生最期の理想は「住み慣れた家で満足死ができる」ことを実現するには、どのような条件がそろえばよいのか?上野千鶴子が在宅ホスピス会長、訪問診療40年の経験を持つ小笠原文雄医師に聞く。

67の具体的で役立つ質問と実践テクニックを紹介。



『ケアメンを生きる』

一男性介護者100万人へのエール

津止正敏 著

クリエイツかもがわ(2013年)

ケアメンとは?…介護を排除することなく共存しようとする新しい生き方モデル、新しいライフスタイルの牽引者。

男性も介護を担う時代、これからは、家族も自分も、老後を安心して託すことが可能な新しい介護スタイルとシステムを創造することを提起。



『絆をもとめて 終のすみかを探す旅』

杉原美津子 著

風媒社(2006年)

7年間シニアハウスなどで働き、高齢者と共に暮らしてきて気づいたことは、高齢者たちが常に孤独を抱えているということだった。高齢者と介護者、高齢者同士がふれあい、絆が感じられる終のすみかを求め、支え合える介護とは。

福祉のまちづくりや高齢者施設を核とした街づくりの例など、支え合う社会を模索した本。



『ジェンダー白書9 アクティブシニアが日本を変える』

北九州市立男女共同参画センタームーブ 著

明石書店(2013年)

「アクティブシニア」とは、生涯現役志向が強く、仕事や趣味に意欲的、経験豊富で積極的に行動する新世代シニアのこと。

従来の高齢者像を変えるシニア世代に着目し、彼らの生き方から社会を変える可能性を見出す。

図書・資料室の利用案内

“G-NETしが”の図書・資料室には、多くの書籍・資料をご用意しております。どなたでもお気軽にお立ち寄りください。

■貸出 本は一人15冊まで(3週間)

ビデオは一人2本まで(1週間)

■開室時間 午前9:00～午後5:00

■休室日 月曜日・祝休日の翌日・年末年始・施設点検日

G-NETしが

滋賀県男女共同参画情報誌

VOL.25 2013年 冬号

発行日/平成25年12月

編集・発行/滋賀県立男女共同参画センター
〒523-0891

滋賀県近江八幡市鷹飼町80-4

TEL 0748-37-3751

FAX 0748-37-5770

E-mail ct30@pref.shiga.lg.jp

H P http://www.pref.shiga.lg.jp/c/g-net/

【開所時間】午前9時～午後9時

【休所日】月曜日・祝休日の翌日

年末・年始・施設点検日



JR近江八幡駅下車南口より500m(徒歩10分)
または近江八幡駅南口から近江バス
『男女共同参画センター』下車